

週刊 **タバコの正体**



中日新聞から 農協内に開設された避難所で過ごす人たち=7日午後1時21分、石川県輪島市で



日本経済新聞から

える人が亡くなり、まだ連絡のつかない安否不明者もいる



避難所に集まった被災者ら（7日、石川県輪島市）

と公表されています。集計しきれないほど多くの建物が被害にあい2万人以上の方が写真のような避難所生活を送っています。道路が寸断され断水や停電が続く地域も多数あり、水や食料が不足するなか寒気と積雪に見舞われる環境での過酷な避難生活をニュース等で目にするたび胸が締めつけられる思いがします。

和歌山で暮らす私たちは、いつもと変わらぬ平穏な日常を送っている事がどれほど有り難いかを実感します。日本列島は地震が発生しやすい地理条件の上に立地しているので、このような自然災害が全国各地で発生する確率が高く、とりわけ紀伊半島は近いうちに南海地震に見舞われる可能性が高くなってきていると言われているので、能登半島の惨状は他人事ではありません。そんな意識を持って被災した人たちの事を想うと、なにか支援・応援したい気持ちになります。現状では私たちには大きな支援はできませんが、被災地を想う気持ちを持って状況を見守り応援したいものです。

「タバコの正体」にはマッチしない内容ですが、毎週発行している紙面を借りてこの大災害を乗り越えるために和工から皆さんとともにエールを送りたいと思います。

産業デザイン科 奥田恭久